

教育目標・指導の重点

50周年後の新たなスタート
未来を自らの力で切り開く力を育てる
教育活動の推進

めざす学校

八坂小の 8 つの取組

1 各教科／道徳

- ◇校内研究(国語科)
- ◇特別の教科「道徳」自分事として考える
- ◇めあて板書の日常化
「学習のゴール」の位置付け
- ◇大切にする振り返り、書く活動の重視
- ◇練馬学びのガイドの活用
- ◇算数少人数習熟度学習（3～6年）
- ◇ICT 機器の活用
- ◇「すすくタイム」で基礎学力向上
- ◇読書の記録の活用
- ◇授業規律の定着
- ◇外国語活動の充実
- ◇体力の向上 体育科の授業改善
- ◇オリンピックレガシーの継承

2 人権教育・健全育成

- ◇チーム八坂小として全職員で常に児童理解と指導改善に努める
- ◇いじめの見逃し0 不登校0
毎月の「学校生活アンケート」
スクールカウンセラー・学校生活支援員・心のふれあい相談員との連携
- ◇日常的な新型コロナウイルス感染症予防の徹底
- ◇学級に関するアンケートの実施

7 保護者・地域 連携

- ◇学校メールの活用
- ◇家庭学習の定着(学年×10分)
- ◇ホームページの充実
- ◇地域人材活用事業の実施
- ◇地域コーディネーターとの連携
- ◇地域を生かした学習カリキュラム実施
- ◇地域未来塾の充実

Head よく考える子 (重点目標)	Heraf 心ゆたかな子	Health たくましい子
学習に主体的に取り組み、よく考え 解決しようとする子供を育てる	豊かな情操をそなえ、自他の人格を 尊重し、助け合って生活できる子供を 育てる	進んで運動に親しみ、心身を鍛え、 健康な体づくりに努力する子供を 育てる

八坂小学校は、常に子供のためにある学校である。50周年というこれまでの歴史と伝統を継承し、
誰一人取り残さず 創造性と可能性のある学校経営を進める。
そして、新たな時代に求められる「未来を自らの力で切り開く確かな学力」を育み、
子供の自立、貢献、共生を支える学校を目指す。
なにより、子供自身が自分の成長を実感できる教育活動を推進していく。

Hand

「やさしく やりぬく 八坂の子」
「みんなで 育てる 八坂の子」

やる気・本気・根気・勇気・元気にあふれた学校
「心のふるさと 八坂小」

学校教育目標を達成するためにめざす学校像

- 「安全」で「安心」して通える学校
- 楽しく学べ、自分の向上が見える学校
- 保護者・地域より信頼される学校
- 自立、貢献、共生を育む学校

経営の基本方針

- 学校の主体性をもとに、保護者・地域に信頼
される開かれた学校づくりの推進
- チーム八坂小 ①分かる授業の推進
②生活指導の充実
③学年・学級経営の充実
④保護者、地域との連携
- 学習環境の整備

確かな学力

- ◇練馬区学びのガイドを生かした授業
革新の推進
「目標」「指導」「評価」の学習サイクル
の徹底により、一単位時間の学習が
一人一人の児童にとって主体的・対
話な学びの場となることをめざす
- ◇個々の習熟度に応じた学びの推進
すすくタイム、一人一台タブレッ
トや学力向上教室等を活用した基礎
基本の定着
- ◇地域と連携協力した体験学習の充実
- ◇読書活動・調べる活動・発表する活
動の重点化

豊かな心

- ◇失敗を恐れずチャレンジする環
境づくり
- ◇あらゆる差別や偏見をゆるさな
心の育成
- ◇互いの人権を尊重した規範意識
の育成
- ◇子供の成長を共感的に支援
- ◇特別の教科「道徳」の充実
- ◇道徳的実践力の育成(体験活動)
・挨拶運動・異年齢交流
- ◇いじめ0、不登校0
「学校生活アンケート」の実施
- ◇潤いのある校内・校外環境の整
備(栽培活動・校内掲示)

安全・健康・体力

- ◇「自分の命は自分で守る」
関係機関と連携した児童の危険
回避能力の育成
セーフティ教室・情報モラル教
育・薬物乱用防止教室・非喫煙
教育
- ◇「学校 2020 レガシー」教育の推進
運動を通しての体力づくりの推
進や健康教育、食育を通じた基
本的な生活習慣の確立

授業研究の日常化

自分の思いや考えを表現する児童の育成(国語科 物語文を主体的・対話的に読むことを通して)

3 特色ある教育活動

- ◇ICT 教育
・日常的に使う環境を整備し活用を図る
- ◇キャリア教育
・夢と希望をもってよりよく生きようとす
る児童の育成
・農業体験等を通しての勤労感の育成
- ◇安全教育
・保護者・地域と連携した防災訓練(9月)
- ◇学校図書館の活用
・区立稲荷山図書館・学校図書館支援員と
の連携
・読書旬間の毎学期設定

4 特別活動

- ◇異年齢活動の充実
「児童集会」・「スマイルタイム」の実施
- ◇体育的活動の充実
持久走月間・縄跳び週間等を通して、体力
の向上・健康の保持増進に努める
- ◇委員会・クラブ活動の充実
- ◇児童会と生徒会の交流
- ◇キャリアパスポートの取組
- ◇地域との交流活動

5 小中一貫教育幼保小連携

- ◇9年間を見通した指導の充実
- ◇「ホットエピソード」の取組
- ◇出前授業・リトルティーチャー・部活動体
験、合同挨拶運動による児童・生徒交流
- ◇スタートカリキュラムの推進

6 特別支援教育

- ◇特別支援教室「わかたけ」の活用
- ◇特別支援コーディネーター・スクールカウ
ンセラー・心のふれあい相談員との連携し
た児童支援
- ◇UD 教育の推進
- ◇学校全体での組織的な対応
子供の成長を共感的に支援する

8 働き方改革

- ◇生体認証による在校時間管理
- ◇完全休校日、定時退勤日の活用
- ◇学校行事等の見直し